

# 大阪労連女性部ニュース NO4

2010年11月17日

発行 〒530-0034 大阪市北区錦町2-1 国労会館 大阪労連女性部

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

## 「世界女性行進フィリピン」のジーン・エンリケスさんが大阪に



↑後列右から4人目がジーンさん

11月13日、横浜で開催された「いらない！APEC」に招聘された、ジーンさんが、前日大阪に立ち寄られ、「おおさか女性行進」を取り組みつづけている女性団体と交流しました。ジーンさんは2000年の世界女性行進の際、ベルギーのブリュッセルで、フィリピン代表として演説され、その後も30を超える国で、講演をされています。

日本に来る直前、韓国でG20に対して、市民集會が持たれました。それに招待されたジーンさんは韓国の空港で入国拒否、フィリピンに帰国させられました。「フィリピンで自分の土地を取り上げられ、追い出された時

を思い出し、怒りで体が震えた。」とおっしゃっていました。

「フィリピンは今でも活動家への弾圧が激しいと聞きます。そんなフィリピンで、なぜみなさん活動を明るく続けておられるのでしょうか？」という質問に、「私たちには何も失うものはありません。残っているのは人間としての誇りだけ。だからたたかうのです。」と答えたジーンさんの目に涙が浮かびました。

「来年の世界女性行進の終結集會はフィリピンで行われます。ぜひ皆さんで来てください。」と訴えられ、参加者は行く気満々です。

## 公務の交流会やりました

大阪労連では民間部会が開かれ、独自の交流や宣伝、争議支援などで力を発揮しています。女性部でも、公務と民間で独自の交流をしようと、大会で提案されました。

11月2日に、まず公務で働く女性の交流会を持ちました。初めての企画で、大教組と自治労連から7人の参加でしたが、軽食を食べながら気楽に日頃の悩みも交流しました。

公務職場は、年齢構成のいびつと非正規の職員が余りも増大していて、厳しい職場の現状があります。だからこそ、地区協などで職種を越えた交流をすることで、力をもらえる、その例として堺労連女性部の活動が紹介されました。橋下知事は、大型開発を復活させるため、公務員攻撃で府民の目をそらせ、府民施策をさらに切り捨てようとしています。しかし、「明るい会」や新婦人の宣伝で、「あなたがムダづかいだと思うのは？」に質問に、「大型開発」を上げる人が一番多いのも事実です。削るべきは公務員ではなく、ムダづかいだということを知ってもらおう宣伝が大事です。そのためにも、地域で愚痴を言い合い理解しあうことが大切ではないでしょうか。

11月24日は民間の交流会です。